

施設名	HOPPA東和親水
施設所在地	東京都千代田区内神田2-15-9 The Kanda282ビル5F
法人名	ビーフェア株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

当園のEnglishteacher常駐の特徴を生かし、「異文化」をテーマに設定する。自分たちの住んでいることとは違うEnglishteacherの母国に興味を持っていることから、自分たちの国のことや他国のことを知り、世界にはたくさんの国があり、それぞれ言葉・衣装・食べ物・国旗などの違いを知ること、様々な国に興味関心を持つ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
 当園に常駐しているEnglishteacherの国に興味を持ち「フィリピンってどこ?」「ブラジルってどこ?」という子どもたちから発せられた疑問から、自分たちの国のことや他国のことを知り、世界にはたくさんの国があり、それぞれ言葉・衣装・食べ物・国旗などの違いを知ること、様々な国に興味関心を持つことができるよう「異文化」をテーマに設定

2. 活動スケジュール

第1回→3か国(日本・フィリピン・ブラジル)の違いについて知る  
 第2回→国旗の意味を知る  
 第3回→クラス国旗を作ってみる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

電子黒板を使用して、実際に他の国のスポーツ・食べ物・民族衣装・イベント・国旗などの動画や画像を見たり、調べたりして理解を深めた。また、国旗づくりの際には、各グループに分かれて少人数で意見を出しやすく、まとめやすく配慮した。その後、それらをまとめる際には電子黒板を使用して、自分たちのイメージした形、色を共有しやすく作成できるようにした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

第1回→それぞれの国の場所を世界地図で確認後、まずは言葉の違いについて調べ、子どもたちに他にどのような違いがあるかを問いそれぞれ調べた。  
 第2回→1回目の子どもたちの言葉から、(国旗には同じような色や同じような形や絵があるのはなんで?)国旗の違いについて調べ、国旗の色や形の意味について調べる  
 第3回→第2回で調べた内容を基に、自分たちのオリジナルクラス国旗を作る

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)  
 第1回→言葉の違いについて話をしていた時、日本語・タガログ・ポルトガル語でそれぞれこんにちは!を紹介していた時、「ポルトガル語ではオラ!っていうんだよね」と保育者に伝える姿やそれぞれの言葉で友達同士挨拶を交わす様子が見られた。  
 第2回→1回目の子どもたちの言葉から、(国旗には同じような色や同じような形や絵があるのはなんで?)国旗の違いについて調べ、国旗の色や形の意味について調べた。国旗に使われている色や形について調べながら、「この国にも同じ色があるから同じ意味だね」「星の数。こっちは〇〇個。そっちは何個?」など州の数の違いを自ら調べる姿も見られた。  
 第3回→友達と話し合いながら、第2回で学んだ内容を引き出しながらそれぞれしっかりと意味を持ってクラス旗を作成する姿が見られた。また、2回目に学んだことを生かして、色は、「仲良く平和でいたいから白がいい!」「ブドウの実が沢山集まっているのがシリウスっぽいから紫入れたい!」「空の広さや海の広さを表すために青色入れたい!」という意見が出ていました。また、マークでは、「シリウスクラス11人と幸正先生1人で12人を表す星を入れたい!」「ハートを入れたらみんな仲良くしてずっと過ごせるから入れたらいいんじゃないかな」「王冠を入れて年長クラスっていう意味でつけたい」「天気が悪くても虹が出たらみんな幸せな気持ちになるから、このクラスもいろいろあったけど虹も入れたい」など沢山意見が出ていました。「喧嘩も沢山したし、色々あったけど、みんなと一緒にいることが楽しかった。みんなが幸せな気持ちになるから虹を入れよう」という声が多く、保育者と相談して背景を虹にする姿も見られました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが、予想以上に異文化を知っていることや子どもたちの興味関心が様々な分野に広がっていく姿に驚きと感心を得た。また、子どもたちの生活の一部に異文化が自然と入り込んでいる環境を改めて感じさらに興味の幅を広げ様々な国に興味をもてるような保育を行い、未来の子どもたちの世界をもっと広げていきたい。また、学びを得たことを生かして、新たな活動に取り組む時の子どもたちが本当に輝いていました。